

〈生命の流れ〉

ついこの前まで褐色に覆われていた森が新緑で萌え始め、一気に緑に染まってきた。生まれたての頼りない葉はフニャフニャと体をよじらせながら風に弄ばれているかのよう。日光を浴びて、初めて“光合成”にチャレンジする若葉にそっと息を吹きかけてみる。そして代わりに若葉から放出された出来立てホヤホヤの空気（酸素）をいただく。何度か繰り返し、空気のやり取りをする。見えない空気ですべての生命と繋がっているのを感じる。

**「森が息を吐くとき 私は息を吸い込む 私が息を吐くとき 森は息を吸い込む  
私たちは、与えることで受け取り 私たちは、受け取ることで与える」**

〈メリッサ・クリーグ〉



森にあふれる緑は、“生命”そのもの。緑を見ると落ちついたり安心したりするのは緑の中に自分と同じ生命を感じるからだろうか。“生命の流れ”の中に私もいる。